



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月31日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4044 URL <http://www.cgco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 皿澤 修一
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 河部 守弘 TEL 03-3259-7062
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日 配当支払開始予定日 平成26年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	90,104	△0.4	4,432	7.6	5,602	7.5	3,968	184.8
26年3月期第2四半期	90,444	10.7	4,120	12.1	5,209	28.3	1,393	△36.1

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 7,211百万円 (6.4%) 26年3月期第2四半期 6,778百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	18.97	—
26年3月期第2四半期	6.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	246,511	142,459	57.0
26年3月期	241,233	135,185	55.3

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 140,448百万円 26年3月期 133,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
27年3月期	—	4.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	193,000	0.7	9,000	△11.0	9,000	△23.2	6,500	29.9	31.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	214,879,975株	26年3月期	214,879,975株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	5,689,621株	26年3月期	5,682,329株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	209,194,385株	26年3月期2Q	209,225,287株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税による駆け込み需要の反動や、消費者物価上昇などの影響から個人消費に落ち込みが見られ、円安下においても輸出が伸びず足元の設備投資も低調ですが、所得・雇用環境は改善傾向にあり、企業の設備投資計画も増加の見込みで、景気は緩やかに持ち直しつつあります。一方、世界経済は、米国が寒波の影響を受けた年初以降は堅調に推移しているものの、新興国の成長鈍化や地政学的リスク、政府債務問題の残る欧州の景気減速懸念など、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは需要の落ち込みを吸収すべく積極的な販売活動を展開いたしました。当第2四半期連結累計期間の売上高は90,104百万円と前年同期比0.4%の減少となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりました結果、経常利益は前年同期比392百万円増加の5,602百万円となり、四半期純利益は前年同期比2,574百万円増加の3,968百万円となりました。

セグメント別の概況

(ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、消費増税による駆け込みの反動などから、建築需要が前年を下回る水準となり、出荷が低調に推移しましたため、売上高は前年同期を下回りました。

自動車用ガラスにつきましては、国内は消費増税の影響を受けたものの軽自動車の販売好調や北米市場の旺盛な需要により、売上高は前年同期を上回りました。

電子材料用ガラスにつきましては、タッチパネル用関連製品の出荷が低調に推移しましたため、売上高は前年同期を下回りました。

以上、ガラス事業の売上高は50,843百万円（前年同期比1.3%増）となり、損益につきましては3百万円の営業利益（前年同期比481百万円の改善）となりました。

(化成品事業)

化学品につきましては、ソーダ灰などの主力製品の出荷が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

ファインケミカルにつきましては、医薬関連製品の出荷は減少しましたが、半導体リソグラフィ関連製品やリチウムイオン電池用電解液製品の販売が好調に推移しましたため、売上高は前年同期を上回りました。

肥料につきましては、消費増税による駆け込み需要の反動などから出荷が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

ガラス繊維につきましては、電子材料向けの販売や自動車用途における採用車種の販売が堅調に推移しましたため、売上高は前年同期を上回りました。

以上、化成品事業の売上高は39,261百万円（前年同期比2.5%減）となり、損益につきましては4,431百万円の営業利益（前年同期比170百万円の減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は246,511百万円となり、平成26年3月末に比較しまして5,278百万円増加しました。主な増加要因は、投資有価証券の時価の上昇などにより、固定資産が7,813百万円増加したことによるものです。

負債は104,052百万円となり、1,994百万円減少しました。主な減少要因は、流動負債が2,585百万円減少したことによるものです。

純資産は142,459百万円となり、自己資本比率は、1.7%増加し57.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、平成26年3月末に比較し、4,609百万円減少の15,764百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で得られた資金は、税金等調整前四半期純利益や減価償却費などにより、3,818百万円（前年同期比5,625百万円の減少）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出などにより、6,664百万円（前年同期比1,455百万円の増加）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、長期借入金の返済による支出などにより、1,639百万円（前年同期比5,933百万円の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間につきましては、急激な円安の影響等による営業外収益の増加により、経常利益、四半期純利益は前回公表を上回りましたが、営業利益段階ではほぼ計画に沿った業績で推移しており、通期の業績予想につきましては修正しておりません。この業績予想は、当社が現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想とは異なる場合があります。今後の状況の変化に伴う影響を慎重に見極めながら、適宜見直していくこととしております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び一部の連結会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が676百万円増加、退職給付に係る負債が429百万円減少し、利益剰余金が714百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,557	15,874
受取手形及び売掛金	44,006	42,362
商品及び製品	24,551	28,081
仕掛品	1,598	1,895
原材料及び貯蔵品	11,985	11,466
その他	5,050	5,413
貸倒引当金	△269	△149
流動資産合計	107,480	104,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,697	21,510
機械装置及び運搬具(純額)	34,449	32,242
土地	24,755	24,687
建設仮勘定	2,646	4,677
その他(純額)	2,752	2,158
有形固定資産合計	86,301	85,277
無形固定資産		
のれん	202	176
その他	876	766
無形固定資産合計	1,079	942
投資その他の資産		
投資有価証券	41,201	49,239
その他	5,474	6,426
貸倒引当金	△305	△319
投資その他の資産合計	46,371	55,347
固定資産合計	133,752	141,566
資産合計	241,233	246,511

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,009	19,496
短期借入金	30,045	29,606
未払法人税等	2,338	1,503
賞与引当金	1,410	1,451
その他	18,778	16,939
流動負債合計	71,582	68,997
固定負債		
社債	10,400	10,400
長期借入金	4,298	3,460
役員退職慰労引当金	30	31
特別修繕引当金	3,718	3,773
環境対策引当金	154	144
退職給付に係る負債	8,663	8,204
その他	7,199	9,042
固定負債合計	34,464	35,055
負債合計	106,047	104,052
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,117	8,117
利益剰余金	97,295	101,141
自己株式	△2,853	△2,856
株主資本合計	120,727	124,570
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,659	17,615
繰延ヘッジ損益	△49	△41
為替換算調整勘定	△397	△1,288
退職給付に係る調整累計額	△520	△406
その他の包括利益累計額合計	12,691	15,878
少数株主持分	1,766	2,010
純資産合計	135,185	142,459
負債純資産合計	241,233	246,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	90,444	90,104
売上原価	69,776	68,859
売上総利益	20,667	21,245
販売費及び一般管理費	16,547	16,813
営業利益	4,120	4,432
営業外収益		
受取利息	9	11
受取配当金	312	405
為替差益	737	549
貯蔵品売却益	383	494
持分法による投資利益	—	44
その他	656	581
営業外収益合計	2,100	2,087
営業外費用		
支払利息	251	195
製造休止損失	46	272
固定資産廃棄損	316	186
持分法による投資損失	73	—
その他	322	262
営業外費用合計	1,010	917
経常利益	5,209	5,602
特別利益		
固定資産売却益	417	17
負ののれん発生益	44	—
特別利益合計	461	17
特別損失		
投資有価証券評価損	10	—
減損損失	3,482	—
特別損失合計	3,493	—
税金等調整前四半期純利益	2,176	5,619
法人税等	735	1,543
少数株主損益調整前四半期純利益	1,440	4,076
少数株主利益	47	107
四半期純利益	1,393	3,968

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,440	4,076
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,923	3,967
繰延ヘッジ損益	△133	8
為替換算調整勘定	1,383	△848
退職給付に係る調整額	—	114
持分法適用会社に対する持分相当額	164	△105
その他の包括利益合計	5,337	3,135
四半期包括利益	6,778	7,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,639	7,154
少数株主に係る四半期包括利益	138	57

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,176	5,619
減価償却費	4,383	4,322
減損損失	3,482	—
のれん償却額	21	25
引当金の増減額 (△は減少)	△1,182	△17
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	654
受取利息及び受取配当金	△322	△416
支払利息	251	195
持分法による投資損益 (△は益)	73	△44
投資有価証券評価損益 (△は益)	10	—
固定資産売却損益 (△は益)	△418	△16
固定資産廃棄損	316	186
売上債権の増減額 (△は増加)	6,560	1,424
たな卸資産の増減額 (△は増加)	445	△3,672
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,068	614
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△75	△100
未払費用の増減額 (△は減少)	△1,561	△1,895
その他	△1,658	△917
小計	11,436	5,961
利息及び配当金の受取額	322	416
利息の支払額	△274	△212
法人税等の支払額	△2,040	△2,348
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,444	3,818
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△158	△94
定期預金の払戻による収入	158	162
有形固定資産の取得による支出	△4,978	△4,212
有形固定資産の売却による収入	486	28
投資有価証券の取得による支出	△3	△1,999
少数株主からの株式取得による支出	△296	—
その他	△417	△548
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,209	△6,664
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,177	855
長期借入れによる収入	100	—
長期借入金の返済による支出	△1,612	△1,837
自己株式の取得による支出	△2	△2
配当金の支払額	△836	△836
少数株主への配当金の支払額	△38	△61
少数株主からの払込みによる収入	—	248
その他	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,573	△1,639
現金及び現金同等物に係る換算差額	295	△123
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,042	△4,609
現金及び現金同等物の期首残高	23,795	20,374
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	207	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,959	15,764

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

I 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	50,191	40,252	90,444	—	90,444
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	1,076	1,082	△1,082	—
計	50,197	41,329	91,526	△1,082	90,444
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	△477	4,601	4,123	△3	4,120

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

II 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ガラス事業」セグメントにおいて、124百万円減損損失を計上しております。

「化成品事業」セグメントにおいて、ソーダ灰及び関連製品の生産を停止することを決定しましたため、3,358百万円減損損失を計上しております。

2 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	50,843	39,261	90,104	—	90,104
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	1,125	1,134	△1,134	—
計	50,852	40,386	91,239	△1,134	90,104
セグメント利益(営業利益)	3	4,431	4,435	△3	4,432

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。